

# 「永遠の鐘」宮田の新名所に 商工会有志が除幕



宮田村の新名所誕生を祝って「永遠の鐘」を鳴らす若者たち

上伊那郡宮田村の駒ヶ根高原を恋人や家族らが「永遠の幸せ」を願う場所にしようと、村商工会青年部の有志が同高原に設置した「永遠の鐘」の除幕式が24日に開かれ、クリスマスイブの高原に澄んだ鐘の音が響いた。村友好都市、愛知県田原市の恋路ヶ浜にある「幸せの鐘」と対の名所にしていよいよ狙いで、来年2月には村の有志らが恋路ヶ浜を訪れて双方の鐘を交換する。

鐘楼は、駒ヶ根市との境界を流れる太田切川に架かるつり橋、こまくさ橋の下流約200mに設置。高さ約3m、

幅約1・5mで、鐘の直径は25cm。同高原を訪れる観光客に同川左岸の同村にも足を運んでもらおうと、青年部ふるさと創造委員会の11人が中心になって準備し、県の地域発元気づくり支援金を活用した。

恋路ヶ浜は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が認定する「恋人の聖地」で、幸せの鐘を鳴らすと恋が実るとされる人気スポット。青年部長の清水光吉さん（39）は「多くの人が幸せを実感できるような名所にしていきたい」と話している。